

あたたかい子  
かしこい子  
たくましい子

学校だより

つよし

—第7号—

令和3年5月18日  
平戸市立津吉小学校  
文責 校長 田川定司

## 運動会、応援ありがとうございました

16日（日）の運動会には、保護者の皆様をはじめ多数御来場いただき、心から感謝申し上げます。コロナ渦のしかも雨の中の運動会開催となりましたが、子供たちは、雨にも負けず精一杯、演技や競技、係活動に頑張りました。お子様の確実な成長を感じられた一日ではなかったでしょうか。たくさんの方の声援が、子どもたちの頑張りを後押ししてくれました。本当にありがとうございました。



一生懸命な姿は美しく、そして尊い。みんな、とってもカッコいい！

## 子どもと周りの目

幼い子どもを連れている時は、周りの目が気になる。声がうるさくないか、迷惑をかけていないか…いろいろ考える。

先日、次男（4）と長女（2）を保育園に送るため、車を止めた駐車場で、見知らぬ女性がこちらをチラチラ見ていた。私は娘に抱っこをせがまれ、荷物も多く、息子と手をつなげていない。「危ないから、ママの服をつかんで！」。先に行こうとする息子に強く言うと、女性は2度、3度と振り返る。「駐車場で迷惑だったな…」。反省した瞬間、女性が近づいてきて、息子にひと言。「ママ大変だから、私と手をつなごうか」

女性は車通りの多い道を息子と一緒に渡り、保育園の前に着くと、駆け足で去っていった。子どもにイライラしがちな朝の時間。女性の優しさに私も息子も救われた。

（4/20 西日本新聞より）



津吉小学校でも、上記の記事のように子供を見守る、やさしい目がたくさんあります。毎朝の登校時、子供たちが渡る危険な横断歩道には、地域の方数名が立っていただいたり、子供たちと一緒に学校までの道のりを歩いてくださったりしています。道行く人も、子供たちに元気なあいさつを交わしてくださいませ。卒業式や入学式には、地域の方からたくさんのお花をいただき、会場は華やかに彩られます。また、台風や暴風雨の後には、通学路の木々を片付け安全な通学路を作っていただいています。

温かい地域の方々の目に見守られながら、津吉小の子供たちは「あたたかい子」として育っています。本当に感謝申し上げます。

先日は、登校中に泣いている1年生を上級生の子供たち2人が優しく声をかけ学校までの道のりを、手をつないで登校してくれました。1年生の教室では、毎日6年生の子供たちが、登校後の朝の準備や、給食の準備等、入学したばかりの1年生のお世話を甲斐甲斐しく頑張っています。ご家庭や地域の方の姿を見て、心優しく成長している津吉っ子の姿を頼もしく思います。

